

2022年7月1日～2024年6月29日の間に 当科において乳房放射線治療を受けられた方及びご家族の方へ

「乳房照射における放射線治療装置を用いた線量誤差低減の検討」

へご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学附属病院	中央放射線部	診療放射線技師	佐伯悠介
研究分担者	川崎医科大学附属病院	中央放射線部	副主任	樋口真樹子
	川崎医科大学附属病院	中央放射線部	副主任	元田興博
	川崎医科大学附属病院	中央放射線部	診療放射線技師	宮田潤也
	川崎医科大学附属病院	中央放射線部	技師長	吉田耕治
	川崎医科大学	放射線腫瘍学	教授	勝井邦彰

1. 研究の概要

乳房照射は近年の技術進歩により従来の接線照射から、複雑な IMRT とされる放射線療法が皮膚の有害事象（皮膚炎など）を減少させることや患者 QOL を向上させる報告があります。しかし、複雑な照射方法の場合に、特定の条件では投与される線量に誤差を起こす事が知られています。

本研究では、投与線量を正確に照射する事を目的とし、線量の誤差を少なくする照射条件の設定および、最適なパラメータを検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2022年7月1日～2024年6月29日の間に川崎医科大学附属病院放射線治療科において乳房の放射線治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2027年3月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において乳房の放射線治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに放射線治療計画用の CT データを選び、放射線治療計画を再度作成し、投与線量の線量誤差が小さくなる照射条件について調べます。

4) 使用する情報の種類

放射線治療計画用の CT データ、身長、体重等。

5) 外部への情報の提供

行いません。

6) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学附属病院 画像診断センター2で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会に承諾を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

< 問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学附属病院 中央放射線部

氏名：佐伯 悠介

電話：086-462-1111 内線 22517（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-462-1111

< 研究組織 >

研究代表機関名 川崎医科大学附属病院

研究代表責任者 川崎医科大学 中央放射線部 診療放射線技師 佐伯悠介

共同研究機関

岡山大学学術研究院保健学域 放射線技術科学分野 准教授 田辺悦章

岡山大学病院 放射線科 渡邊謙太

岡山大学大学院保健学研究科 富本翔太

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。